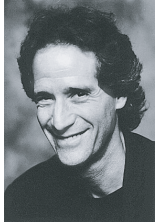


## 審査員 総評



### ジョン・ブルーム (John B bom)

この度、愛・地球博にて開催されている、ショートショートフィルムフェスティバルEXPO 2005に審査員として参加できたことを、光栄に思います。ノミネート作品はいずれも素晴らしいものばかりでした。また、それら作品のジャンルが、巧みに計算された独創的な実写映画、深く考えさせられるドキュメンタリー、そして見事に創り上げられたアニメーション...と、実に多岐に渡っている事に感銘を受けました。



### フランシス・ガベル (Francis Gavelle)

作品選考の過程では、豊かな作品セレクションに圧倒されました。フィルムメーカー達は、それぞれのアプローチで開発により破壊される地球資源や、破壊の結果起こりうる悲劇的な結末を力強く描き出していました。そうした作品を通して、彼らが「自然の叡智」という主題に真摯に取り組んだことが伝わってきました。



### 浜野 保樹 (Yasuki Hamano)

ショートフィルムならではの大胆な手法や内容を堪能し、世界中の映像作家の実験精神に感銘を受けました。さらに、それぞれの国に映像製作の分厚い伝統が存在し、そうした優れた伝統が継承されていることをうかがい知ることが出来ました。また、地球規模の問題に大胆に挑戦した作家たちの建設的な試みは、いずれも素晴らしいものでありました。



### 矢内 廣 (Hiroshi Yanai)

ドキュメンタリー、劇映画、アニメとバラエティに富んだ18カ国43作品を、予想以上に楽しく拝見いたしました。それら作品の中には、近代社会の恐ろしさ表現した作品や、病んだ現代を救う愛の物語、そして強い友情を描いた作品など、心に残る秀逸な作品が数多くありました。手前味噌ではございますが、私も自主制作映画の映画祭を長年主宰しております。ここにも毎年、映画監督を目指す若者たちからの作品が多数寄せられており、毎年、この若い作り手のパワー、新しい才能には圧倒されております。今回のショートショートフィルムフェスティバルは短編映画限定ということでしたが、同じように映画、映像表現に熱意を持ったクリエイターたちのエネルギーが感じられ、大変うれしく思いました。このような若い才能を育てていくことは、映像文化の未来のために大変重要な課題です。そしてクリエイターの皆さんには、本日の受賞結果のいかんにかかわらず、諦めずに、より良い作品を作り続けていただきたいと思います。



### 奈良橋 陽子 (Yoko Narahashi)

大いに想像をかきたててくれる作品が多く、全体的に楽しい審査となりました。演技面で優れた作品や、映像のマジックを駆使した作品、ショートフィルムの良さを十分に生かした作品など、フィルムメーカーそれぞれの挑戦に目を見張りました。今回の審査を通して、ぜひ私も近い将来、周りの若い役者たちと一緒にショートフィルムを作りたいと思いました。